

3学年だより

小平市立小平第二中学校
第3学年 学年だより
第46号
令和6年3月8日(金)

【死ねという言葉と命の大切さ】

ちょうど一年前、3月10日の東京大空襲、3月11日の東日本大震災を前に「死ね」という言葉についてと命の大切さについて学年だよりを書かせてもらいました。

今回もその日を前に「死ね」という言葉と命の大切さについて考えてほしいと思っています。

以下の文章は昨年4月に下書きをし、発行するタイミングがないまま今日にいたってしまいました。加筆修正をして、今回発行させてもらうことにしました。

「限界高校生がんばってます笑 先生会いたいです。」と連絡があったのは2022年12月31日のことでした。相手は前任校の生徒 H ちゃん。

2017年4月私は1年3組 H ちゃんの担任になりました。ママは PTA 会長。

4月、初めての保護者会。学級懇談会でママは、娘は毎日飼犬の毛がついている制服にコロコロをしてきれいにし、それは大事そうにハンガーに掛けていますと言って笑っていました。

6月、体育祭の PTA 会長挨拶に来校した時、娘はあきちゃん先生のクラスですごく嬉しいみたい、ありがとうございますと言ってくれました。

1月、道徳授業地区公開講座。1年3組の授業を1時間参観してくれ、あきちゃん先生の道徳って本当に心が温かくなるよねと言ってくれました。

2月、私もママも咳が止まらなくなり会うたびに今年の咳は長引くよねと話しました。

3月、卒業式。PTA 会長の挨拶。それはそれは心のこもった、保護者の心にも卒業生の心にも響くスピーチをしてくれました。

4月、入学式。PTA会長の歓迎の挨拶は少し辛そうでした。

入学式が終わった後、話があると言われ肺がんであることを告白されました。Hちゃんは中学2年生、弟のKくんは1年生に入学したばかりで、この話は2人の担任、管理職だけの秘密でした。

あきちゃん先生お願いね、と2人を託され私はママと連絡先の交換をしました。

5月、ゴールデンウィークに入院、手術をしたママに子どもたち2人の毎日の様子を報告しました。

10月合唱コンクール。教員とPTAで歌う職員合唱を前に一緒に写真を撮りました。歌えてよかったと泣いていました。

当時私の子どもは2歳半でした。毎日遅くまで働き、保育園のお迎えが一番最後。ご飯はふりかけご飯だよと話したとき、うちも同じだったよと励ましてくれました。

丁寧に子育てしたいよねと言いました。でもきっと子どもたちもわかってくれるよと言ってくれました。

あきちゃん先生ががんばっていることきっとわかってくれるよといつも励ましてくれました。

2019年4月Hちゃんは3年生になりました。ママは抗がん剤の治療のため髪の毛が抜けるようになり、ウィッグを使うようになりました。

PTAの用事で学校に来た時、「見てー！これネットで安かったの」と新しく買ったウィッグを見せてくれました。

私は自分にできることをと考えヘアドネーションをするため髪を伸ばすことにしました。

2020年2月、美容院で髪を切りヘアドネーションとして寄付をし、その報告をしました。でも、その返事は来ませんでした。

3月、ママはなくなりました。48歳でした。娘は中学3年生、息子は中学2年生。最期までPTA会長として、朝の旗振りをし、会長職を懸命に努め、子どもたちの将来を心配していました。

告別式。親族席に座っているHちゃんを私はたまらず抱きしめに行きました。

それから3年。Hちゃんはこの春、卒業しました。そして2人でランチをしました。いろいろな話をしました。

ママが癌と言われ、怖くて学校に行かれなくなったこと、今もすごくママに会いたいと思うこと、ママならなんて言うかなって思うこと。それでも18歳のHちゃんは前を向いて自分の人生を歩んでいかなくてはいけません。

教師になって20年。悲しい別れを何度も経験してきました。

だからこそ、命の大切さ、死ねという言葉の重さを伝え続けています。それでも毎日のように聞く死ねという言葉。無力さも感じますが、言葉の重みを今日も生徒たちに伝えようと努力しています。

ここまでが昨年4月に下書きをし、保存していたものです。

先月またHちゃんと会い話をしました。この内容を学年だよりに掲載したいけれどどう思う？と聞くと快諾してくれました。

そして、死ねという言葉の話もしました。「本当に死んだらどうするんだろうね。でもお父さんやお母さんが死ぬなんて想像できないよね、私もできなかったし」と話していました。「命っていつ失われるかわからないから大事にしてほしい。」とも話してくれました。

今年もまた3月10日3月11日がやってきます。

命は大事なんだよと言っても、本当にわかるまでには時間がかかるかもしれません。

でも、周りの人が傷つかない言葉を使うこと、発言する言葉に思いやりをもつことは今からでもできることです。

間もなく中学生を卒業します。大人になるための第一歩として、自分の発言に責任をもってほしいと思います。

そして「死ね」という言葉をなにげなく使っている人がいたら、あなたなりのやり方で、言い方で、声を掛けてほしいと思います。

「その言葉良くないよ」と。

【卒業式まで】

卒業式までわずかとなりました。先週発行した学年だよりの数字が少し違っていました。

学校に来る日ではなく、卒業式までの日数でした。訂正してお詫びいたします。

卒業式までに学校に来る日は、明日を入れて7日です。

最後をしっかりと締めくくることが大事です。

日本には昔から「終わり良ければ総て良し」「立つ鳥跡を濁さず」という言葉があります。

始まりより終わりが肝心、綺麗に終わらせることが大事という意味です。

あと、7日。最高の中学校生活だったと思える学校生活を送ってください。



【デートDV防止啓発講座】

今週月曜日にデートDV防止啓発講座が開かれました。「DV」とは夫婦間で起こる問題ですが、デートDVとは恋人同士の間で起こるものです。以下は配布されたプリントからの抜粋です。

1 デートDVとは？

- ・暴力を使って相手の自由を奪い、心や体を傷つけて、相手を思い通りにしようとする、人権侵害
- ・男らしさや、女らしさの偏った思い込みや、恋愛についての間違った思い込み（束縛は愛）などがデートDVの根っこにある。“暴力は愛じゃない！”

2 もし、あなたがデートDVの被害を受けたら

- ・あなたは悪くありません。
- ・どんな理由があっても、暴力を受けていい人はいません。
- ・信頼できるおとなや、先生の相談しよう。
- ・相談することは恥ずかしいことではありません。

3 もし、あなたが自分の暴力に気づいたら

- ・暴力以外の行動を、あなたは選ぶことができる。あなたが相談することもできる。

4 もし、友達がデートDVの被害を受けていたら

- ・友達の話真剣に聴いてください。心配な人のことを、あなた自身が専門機関に相談することもできる。

5 デートDVにならないためには

- ・自分の感覚や気持ち、境界線を大事にしつつ、相手の気持ちや境界線を大事にして、境界線を越えるときは、同意をとろう。
- ・自分の思い込みをチェックしよう。

自分の身体は大事で“相手のからだに触れるときは、”相手のからだに触れるときは、必ず相手の「同意」をとろう。相手が自分の身体に触れていいかどうかを、決めるのは自分自身。”

“同意がない性行為は犯罪！”

水着でかくれるところや、口や胸は大事なプライベートゾーン。

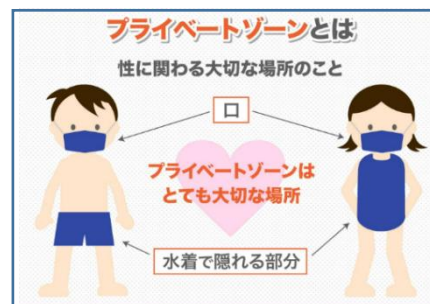
同意なくさわったり、写真を撮るのは性暴力。

同意のない性行為は、犯罪！

いやだと思ったら、NO!と言っていーいよ。

言えなくてもあなたのせいじゃない。

安心なおとなに相談しよう。 以上、講座で配布された資料より



【上級生の話を聞く会と大掃除】

水曜日の5時間目は上級生の話を聞く会と大掃除の同時進行でした。代表として、長谷川快晴さん、則松さん、中村さん、渡邊沙空さん、奥山さん、鈴木さんが自らの受験経験を下級生に話してくれました。大変だったこと、苦労したこと、がんばったこと、工夫したことなど、来年度以降の受験生への参考になったはずですよ。

司会では小林さんと木口さんが活躍してくれました。そして、その話をしている裏で、大掃除が行われました。

自分たちが使った教室、下駄箱などをみんなで力を合わせ感謝の気持ちを込めて綺麗にしました。



↑→みんなで綺麗にしてくれました。

←2年生がうつむいているように見えるのは、みんな一生懸命メモを取りながら聞いてくれたからです。



【学校公開日について】

先日お伝えしました学校公開日に行う個人発表と修学旅行班発表の件です。個人発表は、お休みの人がいた場合には、次の人が発表します。2時間目が19番の人から始まることは全クラス統一しますが、1時間目も2時間目もお休みの人が数名いることを想定し余裕をもって来校していただけるとありがたいです。

よろしくお願いいたします。

1時間目 8時45分～9時35分	出席番号1番～18番（1人2分程度）
2時間目 9時45分～10時35分	出席番号19番～37番（1人2分程度）
3時間目 10時45分～11時35分	修学旅行班発表（各班6分程度×6班）

保護者の皆さまへ

卒業式が近づいてきました。それにあたり、保護者の皆さまへお願いがあります。

卒業式は通常の学校生活の集大成であり、義務教育修了の大切な儀式となります。服装や髪型など、これまでの学校生活のままの姿で臨んでほしいと考えております。そのため、日頃の学校生活で認められていない髪型やお化粧は、卒業式でも同じく認められません。

卒業式当日に、髪型やお化粧のことで指導をしたり、ぶつかり合いをしたりするのは、避けたいのが私共の思いです。保護者の皆さまにおかれましても、どうぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お子さんのハレの日がどうか穏やかで安心できるものになりますよう、ご家庭でも声掛けをいただけますと幸いです。